

# 政岡と近代の観光

仙台市博物館 学芸企画室 中武 敏彦

第9回

## 仙台一の有名な

昭和のはじめ頃、仙台を訪れた観光客に仙台の有名な人を尋ねたら、「政岡」の名前を挙げる人が多かったのではないのでしょうか。

政岡とは、『伽羅先代萩』など伊達騒動を題材とする芝居のなかで、主要人物として登場する役柄です。幼君・鶴千代の乳母役である政岡は、お家騒動で揺れる家中において、実子を犠牲にしてまで鶴千代を守り抜いた忠義の人物として描かれます。特に明治以降になると、政岡は己の信念を貫いた「烈女」「烈婦」と評されるようになりました。

当時の政岡の知名度は、全国的に見



戦前の絵はがき トルは「仙台名所 仙台市博物館蔵

三沢初子の墓だが、タイ政岡の墓となっている。無事に存続しました。乳母と実母という違いがあるものの、お家騒動の最後に幼君を守り抜いたという共通項があるためでしょう。政岡の名が

## 政岡＝三沢初子？

政岡のモデルには諸説ありますが、最も知られているのが三沢初子です。初子は3代藩主・伊達綱宗の側室で、4代藩主・亀千代（後の綱村）を生みます。綱宗が不行跡によって幕府から隠居を命じられ、若い亀千代が藩主の座に就きました。しかし、重臣間の対立による一連の騒動によって、藩内は混乱に陥ります。幸い亀千代は幼少のため責任を問われず、仙台藩も無事に存続しました。

戦前の絵はがき トルは「仙台名所 仙台市博物館蔵

## 政岡を巡る旅

著名になると、芝居の役柄である政岡と実在の初子が同一人物視されるようになります。そのため初子の人物像も、政岡と同様に「烈女」「烈婦」と評されるようになりました。

絵はがきが観光宣伝の主役であった二〇世紀、その製作にあたっては、名所を美しく見せる角度、訪れたくなる物語性を重視しました。その意味で、庶民に広く知られていた政岡は、絵はがきの格好の題材でした。

仙台名所を紹介した戦前の絵はがきでも、政岡の墓がよく取り上げられています。なかには「政岡之墓参拝記念」と題する絵はがきのセットもあり、政岡の墓をはじめ、高尾太夫の墓、伽羅の名木と称する芝居にちなんだ名所が紹介されています。また、煎った大豆に砂糖をまぶした「政岡豆」という菓子は、明治時代後期から昭和三〇年代まで、仙台を代表するみやげ物の一つでした。

アニメや映画の舞台となった地を巡ることを「聖地巡礼」と呼び、現在では国内のみならず、海外からの観光客もそうした旅を楽しんでいます。昔の人も同様で、政岡ゆかりの地を巡り、おみやげに政岡豆を買う、そんな旅行を楽しんだ人も案外多かったのではないのでしょうか。

仙台市博物館再開館記念祭 企画展

4月2日(火)～5月26日(日)

【開館時間】9:00～16:45 (入館は16:15まで)

【休館日】毎週月曜日 (4/29、5/6は開館)、5/7(火)

【観覧料】一般・大学生460円、高校生230円、小・中学生110円 ※各種割引料金については、ホームページでご確認ください

資料画像：布袋置物(仙台市博物館蔵)

最新情報は、博物館ホームページでご案内しています

お問い合わせ 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) TEL:022-225-3074 9:00-16:45

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM

▶博物館ホームページ 仙台市博物館 検索

▶博物館X(旧ツイッター) @sendai\_shihaku